

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

学校名	佐賀県立唐津東中学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学力の向上について昨年度は、すべての学年で目標達成とまではいかなかったものの、順調に学力が伸びたと言える。今年度はすべての学年で成果指標を達成するために、さらなる取組を進めていきたい。また、学ぶことの楽しさを伝える授業実践については、教職員のさらなる努力が必要であり、それを学力向上にどうつなげるのかを検討していきたい。</p> <p>・心の教育については、道徳教育の大切さを再認識し、「考え議論する道徳」の実践を進めたい。また、いじめについて昨年度は、アンケート結果を受けていじめ対策校内委員会を開催することで、全職員が基本方針を理解し、それに基づいて行動することができた。今年度も引き続きいじめの未然防止と早期発見に努めていきたい。</p> <p>・業務改善・教職員の働き方改革の推進について今年度は、具体的取組を実践し、協力して問題を解決していこうという雰囲気を作っていくことで、職員の業務への前向きな姿勢を高めていくことが必要と考える。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>校訓「光 力 望」のもと、「自主自律」の精神を培い、知徳体の調和のとれた生徒を育成する。地域や国際社会の発展に貢献する高い知性と志を備えた心身ともに逞しい生徒を育成する。</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>①生徒一人ひとりの進路希望の実現 ②わかる授業実践と授業改善への取組 ③社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育の充実 ④グローバル人材、チャレンジ精神を持った生徒の育成</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上にする。	○評価シートに関する職員向け説明会を行い、マイプランへの理解を深める。 ・生徒一人ひとりの進路希望実現を目指したマイプランを作成する。 ・3学期にマイプランの達成度を検証し、次年度への課題の洗い出しを行う。	●	●	●	●	●	●	・進路指導
	○学力の向上	○全国模試の学力推移調査において、benesseの指標A1以上の生徒を38名以上にする。 ○「家庭学習は十分にできている」について肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。	・わかる授業の実践に取り組み、効果的で適切な課題に取り組みさせる。 ・質の高い家庭学習を確保するために、手帳やclassiを使い、計画的に学習に取り組みさせる。 ・学力分析会(年3回)を実施し、結果の共有と課題の洗い出しを行う。	●	●	●	●	●	●	・進路指導
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	◎「道徳科の授業の内容を通して、社会性を身につけ、自らを律し、相手を思いやる心を充実させられたか」という振り返りで肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。	・職員室の道徳コーナーを活用し、各学年で教材や参考資料の共有を行い、学校全体で「考え、議論する道徳」の授業実践に取り組む。	●	●	●	●	●	●	・総務(道徳担当)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)についての取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教職員を90%以上にする。	・いじめに関する職員研修を実施する。 ・「生徒理解協議会」で生徒の様子などの情報を共有し、「いじめ未然防止の取組」「いじめ早期発見の取組」に努める。	●	●	●	●	●	●	・生徒指導
	◎グローバルな活躍を目指す生徒、旺盛なチャレンジ精神を持った生徒の育成	◎「グローバルに活躍したいか、物事に積極的に挑戦したいか」について肯定的な回答をした生徒80%以上にする。	・海外の中学生との交流会、英会話体験プログラム等を企画・運営する。	●	●	●	●	●	●	・総務
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒を90%以上にする。(R3年度末85%)	・「ほけんだより」等とおして、食育に関する情報を提供する。 ・家庭科との連携、ミルク給食やフッ化物洗口等の円滑かつ適切な運営を行う。	●	●	●	●	●	●	・保健厚生
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・時間外在職時間の上限を周知し、各個人の実情に応じ、削減の工夫を呼びかける。 ・職員の在職時間を把握し、必要に応じて面談を行う。 ・定時退勤日、学校閉庁日を設定し、有効利用を呼びかける。 ・部活動について効果的かつ十分な休養日を設定する。休日に活動する場合も、顧問間での分担を調整し、時間外勤務の縮減に努めてもらう。	●	●	●	●	●	●	・管理職
	○労働環境の改善	○「作業管理や作業環境等労働環境が改善された」と回答した教職員を75%以上にする。	・「職場環境に関するアンケート」の実施 ・ハラスメント相談体制の周知 ・衛生委員会の充実	●	●	●	●	●	●	・管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------